

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた  
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山県立岡山一宮高等学校  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )  
 住所 〒701-1202  
 岡山県岡山市北区櫛津221  
 E-mail: rika\_kamata@pref.okayama.jp  
 Website: <http://www.itinomiya.okayama-c.ed.jp/itiko.htm>  
 児童生徒数: 男子 559名 女子 520名 合計 1079名  
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ  
いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

## 1 アートマイルプロジェクト

今年度新たに発足したユネスコ同好会では、文部科学省・外務省後援事業であるアートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクトに取り組んだ。本校のパートナー校であるマレーシアの Montfort Youth Centre の生徒とインターネットを活用して”People and Culture”をテーマに協働学習を行い、学習の成果として1枚の大型絵画を共同製作した。スカイプを使って直接海外の生徒とコミュニケーションを図ること、プロジェクトを進めるにあたって相手の国の文化や慣習等にも気付くことができ、異文化理解が深まった。

## 2 海外研修

昨年度同様フィリピン・韓国に生徒を派遣し、フィリピンでは環境問題やエネルギー問題、社会問題に関する研修を、韓国では現地の高校や大学と連携した交流活動や研修を行った。

## 3 フェアトレードの理解と実践

ユネスコ同好会の活動の一環として、フィリピンスタディーツアーで学んだ現地の社会問題解決の一助とするため、フェアトレードについて学習し、スタディーツアーで見学させていただいた環境 NGO 団体のフェアトレード商品を日本に持ち帰り、文化祭で販売した。また、フェアトレードの仕組みについて学習し、学んだ内容をポスターにまとめ、展示発表した。募金活動も並行して行い、売上金と募金を全て現地の当該 NGO 団体へ送付した。世界の貧困問題とグローバル化の関係について理解するとともに、解決に向けて自らどう行動すべきか等について、生徒は多くの気づきを得たようである。

## 4 国際理解シンポジウム

「発展途上国での医療、技術協力を経験して」と題して、ゴラン高原（イスラエル・シリア）における自衛隊PKO活動での医療支援、ネパールにおける青年海外協力隊員としての自動車整備等の指導について、それぞれ現地での活動内容や人々の様子などを講師の方から報告していただいた。生徒はより広い視野で自分にできる国際貢献とは何かを深く考えることができた。

## 5 JICA 中国訪問

国際貢献活動を行っている JICA の取組や開発途上国の現状を理解することを目的とし、東広島市にある JICA 中国国際センターでの研修に参加した。

## 6 体系的な思考力、情報収集・分析能力、コミュニケーション能力を育む学校設定科目

夏季休業中に理数科生による岡山県北部の蒜山高原におけるフィールドワークを行い環境問題や自然科学についての研修を行った。また、年間を通じて「科学技術リテラシー」「科学技術コミュニケーション」「課題研究」等の科目において情報収集・分析能力や論理的思考力の育成に取り組んだ。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）